

建築士 やまなし

No.81

— ARCHITECTURE YAMANASHI —



Photo: 澤田 聖司 ①



Photo: 小林タクヤ /C-cube Design inc. ②

令和3年度 山梨県建築文化賞受賞作品

- ①山梨県立青洲高等学校
〔公共〕(建築文化賞)
- ②山と湖の家
〔住宅〕(建築文化奨励賞)
- ③自然農を営む農家民家
〔住宅〕(建築文化奨励賞)
- ④休息山立正寺庫裏
〔一般〕(建築文化奨励賞)
- ⑤山梨県子どものこころ
サポートプラザ
〔公共〕(建築文化奨励賞)
- ⑥爰びすや
〔良好なまちなみ景観〕
(建築文化奨励賞)



Photo: 小林タクヤ /C-cube Design inc. ③



Photo: アオヤギフォトスタジオ 青柳茂 ④



Photo: 榎本 佳嗣 ⑤



Photo: 斯波 貴史 ⑥

特集 2040プロジェクト 連載第2回目「STEP 1・2」

目次

年頭のごあいさつ 一般社団法人 山梨県建築士会会長 雨宮健一 …… 2	令和3年度第30回全国女性建築士連絡協議会 福岡大会に参加して 女性部会 松野範子 …… 9
県政功績者表彰を授与されて …… 甲府支部 望月雄二 …… 3	
日本建築士会連合会会長表彰を授与されて 石和支部 佐野正秀 …… 3	令和3年度山梨県地震防災訓練 (塩山支部 被災建築物応急危険度判定訓練) 事務局 …… 9
日本建築士会連合会会長表彰を授与されて 甲府支部 藤田義治・中巨摩支部 松浦芳恵 …… 4	県からのお知らせ 令和3年度 山梨県建築文化賞受賞作品一覧 …… 10
職業体験講座「建築士のしごと」 甲府支部青年部長 遠藤恭範 …… 5	県からのお知らせ 長期優良住宅法・住宅品確法の改正 …… 11
第5回 山梨県建築士の集い 開催について 実行委員長 小田切崇 …… 5	事務局よりお知らせ 会員の動静 …… 11
特集 2040プロジェクト 連載第2回目「STEP1・2」 …… 6・7・8	編集後記 …… 12

年頭のごあいさつ

一般社団法人 山梨県建築士会

会 長 雨 宮 健 一



あけましておめでとうございます。皆様にかかれましては、輝かしい年の幕開けをお迎えのこととお慶び申し上げます。さて、去年は岸田政権が発足し、産業・経済・政治へと大きな期待を寄せたいところですが、相変わらず恐ろしい新型コロナの脅威に大きな不安が残っています。第6波への恐怖で、行動自粛・行動制限を解いてしまってよいものか？ 果たして日常生活が元の水準に戻るだろうか？ 縮小した日常が起こす不況にどう耐えるのか？ なかなか不安が払拭出来ないスタートではありますが、何時までも立ち止まっているわけにもいきません。そして建築士を取り巻く環境も刻々と変化しています。

建築士法につきましても建築士人材を継続的かつ安定的に確保するため、令和2年3月の改正建築士法の施行に併せ、実務経験の対象実務の拡大、学科試験免除の仕組みの見直し、建築士事務所の図書保存の見直し等が行われました。建築士法により建築士事務所の開設者は一定の図書について15年間保存することが義務づけられています。このたび建築士法施行規則を改正し、保存の対象となる図書が拡大されました。その背景には、4号建築物及び建築確認の不要な建築物であっても、建築基準法令等の定める基準に適合することが義務づけられており、建築士は適切に設計し、構造安全性を確かめることが当然に求められています。これまでも、建築士事務所の開設者には一定の図書の保存が義務づけられていましたが、木造建築物の構造安全性

を確かめるための重要な計算である壁量計算、四分割法の計算及びN値計算に係る図書や、構造安全性を確かめることで一部の仕様規定を適用しないこと、とするための構造計算等に係る図書については保存が義務づけられていませんでした。このような状況を踏まえ、仮に建築物に係る構造安全性について疑義が生じた場合であっても、構造安全性が確保されていることを建築士が対外的に立証できるようにするとともに、設計等業務の委託者の保護を図る観点から、建築士事務所の図書保存の制度が見直されました。

全ての建築物について、配置図、各階平面図、二面以上の立面図、二面以上の断面図、基礎伏図、各階床伏図、小屋伏図、構造詳細図、構造計算書等、工事監理報告書の保存を義務づけることとなりました。ここで言う構造計算書等とは、
[1] 保有水平耐力計算、限界耐力計算、許容応力度等計算などの構造計算書
[2] 仕様規定の適用除外のただし書で必要な構造計算、燃えしろ設計に係る構造計算等の構造の安全性を確認するために行った構造計算の計算書
[3] 壁量計算、四分割法の計算、N値計算に係る図書

以上のような内容ですが、全ての建築士は法改正を理解し、順守しなければなりません。

停滞から変動、そして厳しい時代の幕開けではありますが、皆様にとりましては、充実した年になりますように。また、更なる皆様のご支援・ご協力を御願い申し上げ年頭の御挨拶とさせていただきます。

県政功績者表彰を授与されて

甲府支部

望 月 雄 二



2021年は、信玄公生誕500年、更に山梨県が設置されてから150年にあたります。このような節目の記念すべき年に、凶らずも県政功績者表彰の栄に浴することができました。

これも、ひとえに今までご支援をいただいた多くの皆様のお陰と感謝しております。改めて建築士会の雨宮会長を始め会員及び事務局、関係行政機関の方々に心から御礼申し上げます。

県政功績者表彰について県のホームページには、県政の各分野における功績が顕著であるものとあります。その各分野とは、「山梨県表彰規則」の第二条で、地方自治・産業経済・社会福祉・保健衛生その他の公益事業に分類されてます。

この度の私の受賞は、産業経済(建設業)に属しており、建築士会の様々な事業が公共の福祉の増進に

寄与していることにほかなりません。各種の講習会や研修会、建築士試験の運営、まちづくり提案、耐震啓発、空家対策などの事業活動が社会的に高く評価されており、諸先輩や会員のたゆみない多大なご尽力による賜であると理解しております。

新型コロナ感染もようやく落ち着いてきたとはいえ、この2年間は感染拡大防止によって、行事の延期や中止、ウェブ会議など制限を受ける中での諸活動に苦慮してきた所です。建築士会の更なる発展のためには、これからは正念場になってくると思います。今回の受賞を機に、微力ながら、もう少し精進・努力してまいりますので、今まで以上にご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員各位の益々のご健勝をお祈りし、御礼の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

日本建築士会連合会 会長表彰を授与されて

石和支部

佐 野 正 秀



この度、令和3年度日本建築士会連合会会長表彰を賜りましたことに心より感謝申し上げます。コロナ禍により全国大会が延期となり、山梨県建築士会理事・監事会議の席上において雨宮会長から伝達をしていただきました。受賞に至るまでの過程の中で推薦を頂いた雨宮会長を始め、理事並びに事務局の皆様には多大なるご支援をいただき深く感謝申し上げます。

建築士会に入会し40年近くが経過いたしました。山梨県建築士会石和支部青年部での活動がスタートでありました。青年部時代より多くの皆様と接する機会にめぐまれ、多様な人間関係を築くこともできました。まちづくり等のプロジェクトにも参加することができ、私にとってまさしく「人間力」を磨く素晴らしいチャンスでありました。また近年におい

ては山梨県建築士会・山梨県建築士事務所協会・建築学会山梨支所・山梨県建築設計協会の四会合同による全国大会への参加や、多くの視察研修を重ねることができました。山梨県建築設計協会の会長としても大変有意義な四会合同による事業が行なえたことに感謝いたします。

今後も是非あらゆる機会を通じて四会合同による多くの事業を企画し、多くの会員の参加をいただく中でより有意義な建築士会活動が展開されていくことをご祈念いたします。

結びになりますが、このような表彰を受けた事を契機にさらに精進をつづけ、微力ではありますが山梨県建築士会の発展のために努力を重ねていきたいと思っております。

日本建築士会連合会 会長表彰を授与されて



甲府支部

藤田 義治

昨年もニュースの多くは、新型コロナウイルスの話題が占めております。また、新たに変異株「オミクロン株」が世界中を脅かしています。この様なコロナ状況により、広島での全国大会も規模縮小による東京開催(LIVE配信)に変更となりました。今も社会的にも、経済的にも、見通しの立てにくい現状の中で、多くの人々は明るい話題を待ち望んでいます。

そんな中、私にとりましては、日本建築士会連合会会長表彰を賜ったことが明るい出来事であります。山梨県建築士会会長、会員及び事務局の皆様には、心より感謝申し上げます。

私は建築設計に携わり半世紀が過ぎました。はじめは東京の事務所に数年、その後故郷山梨に戻り、山形均と知り合い、山形一級建築士事務所の一員として、クライアントに喜んで頂ける設計、また、建物を利用す

る人々が幸せになる様な施設を、と努力してまいりましたが、果たして実現してきただろうか。「光陰矢の如し」今思えば何をしてきたのか、建築士会には何年籍を置いているのか、また、何かの貢献に値する仕事をしたのか、と考えるとこの榮譽は、雨宮会長をはじめ、これまで多くのご指導を頂いた諸先輩方のおかげと痛感致しました。ありがとうございました。

今後も山梨県建築士会の発展に、皆様方のお力添えを頂きながら、微力ではございますが尽力して参りたいと思いますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、山梨県建築士会の益々の発展と会長並びに会員の皆様のご健康をお祈りし、より良い建築士会になりますように心より願い、お礼の言葉と致します。

日本建築士会連合会 会長表彰を授与されて



中巨摩支部

松浦 芳恵

この度、日本建築士会連合会会長表彰をいただきありがとうございました。

この榮譽を受けれたのも、高校を卒業してすぐに就職した私を暖かく指導して下さった先輩方、建築士会を通して出会った方々のおかげだと思っています。

そして女性部会の方々には仕事や私生活の悩みを聞いてもらったり、活動を通して楽しい時間を過ごさせていただいております。心より感謝申し上げます。

現在、私は設計事務所をやっています。主に住宅が多いのですが店舗や事務所などの設計もします。お客様の夢を形にする設計業務も楽しいのですが、打ち合わせをする中で築き上げていく関係や、建物が完成した時の喜びはひとしおです。また母校の甲府工業高校の外部講師として週に1回程度の割合で建築実習の指導をしています。そして建築士会の委員会の活動として建築士の試験官もさせていただいてい

ます。どちらも建築士を夢見るかつての自分の姿と重なって、胸が熱くなる思いです。またこれからの建築業界を担っていく若者たちと接することで刺激ももらっています。

コロナ禍の中、人と接する機会が減っています。でも大切なのは人との関わりです。心を込めて設計をし、心を込めて人と接する。それが良い仕事、そして良い関係へと繋がっていくものと考えています。これからもこのことを大切に仕事を続けていけたらと思います。

そして、建築士会の活動を通して社会貢献と建築の仕事の楽しさを伝えることをしていきたいと思ひます。

改めて私を推薦して下さった雨宮会長をはじめ、建築士会に感謝を申し上げ、本会の益々のご発展をお祈り申し上げます。誠にありがとうございました。

小中学生向け 職業体験講座「建築士のしごと」

甲府支部青年部長 遠藤恭範

「建築士」は小学校から高校生まで、男子のなりたい職業ランキングの上位をキープしている。ということで山梨県生涯学習センターよりお声掛けをいただき、8月6日に令和3年度職業体験講座「建築士のしごと」の講師を甲府支部青年部と女性部の12名にてつとめさせていただきました。募集定員は小学校4年生から中学3年生の20名であり、本当に集まるのか？と不安に感じていましたが、キャンセル待ちが出るほどの応募があったようです。参加された生徒は男子10名、女子10名で女子にも人気があるのだなと嬉しい気付きもありました。

講座の時間は3時間。「実務として行った図面や模型を見てもらうから、「建築士のしごととは…」「部屋や家具などの大きさの感覚をつかもう」という座学を1時間行ったのちに、方眼紙に「自分が住みたい家」という設計テーマで平屋建て住宅の平面図の作図を2時間行うという時

間割でした。丁寧に説明はしようものの小学生に図面が描けるのか？すぐに飽きてしまうのではないかなど心配は尽きないのだが、実際に作図が始まると子供たちの集中力に圧倒されました。「ペットの部屋」「野球が出来る部屋」「滑り台のある部屋」など夢の詰まった家を楽しそうに描きまくり、時間が足りない…という子供たちがほとんどという結果に。講師の我々も子供たちの作図をとおして、建築士を目指した初心を思い出し胸に熱いものがこみ上げてくる事態となりました。

講座後の参加者アンケートによると、「とても楽しかった」の回答がなんと100%！！講師、参加者ともに大満足な講座となりました。

参加してくれた子供たちには、三角スケールをプレゼントしました。数年後にその三角スケールを持った青年が建築士試験の会場に現れたら嬉しいですね。



第5回 山梨県建築士の集い 開催について 実行委員長 小田切 崇

令和4年2月26日に、「第5回山梨県建築士の集い」を開催いたします。山梨県内での建築士による様々な分野の取り組みや活動を、見て・学び・交流する貴重な機会を提供できるよう、青年部では実行委員会を立ち上げ、開催に向けて準備を進めています。

前回はコロナ感染症拡大防止の観点から集わない集いでしたが、今回は、やまなし地域づくり交流センターを会場とし、同時にWEBでのオンライン配信も行うハイブリット方式での開催といたします。各分野で活躍する建築士の地域実践活動報告をはじめ、講習会では、県政出張講座・甲府城周辺地域整備計画(仮)と題しまして、歴史・文化に携わる方々より都市計画を学べる企画を予定しています。また、新しく建築士になれる方々にも声をかけ、合格お祝い会も開催いたします。コロナ感染症の状況を見ながらになってしまいますが、メイン

イベント？の懇親会も企画しており、ウィズコロナで制約が何かとある中でも前進していくつもりです。

オンラインでの配信のみであった前回では、初めて参加された方々にも大勢視聴していただきました。会場まで足を運ばずとも気軽に参加していただけます。まずは視聴参加でも構いませんので「集い」を味わっていただければと思います。参加された事のある方は、知り合いの建築士の方々にお声がけいただき、周知いただければ幸いです。

爽りある「集い」となるよう企画を練り上げていきますので、多くの方々のご参加よろしくお願いたします。

※参加方法等最新情報は、
ホームページでご確認ください。



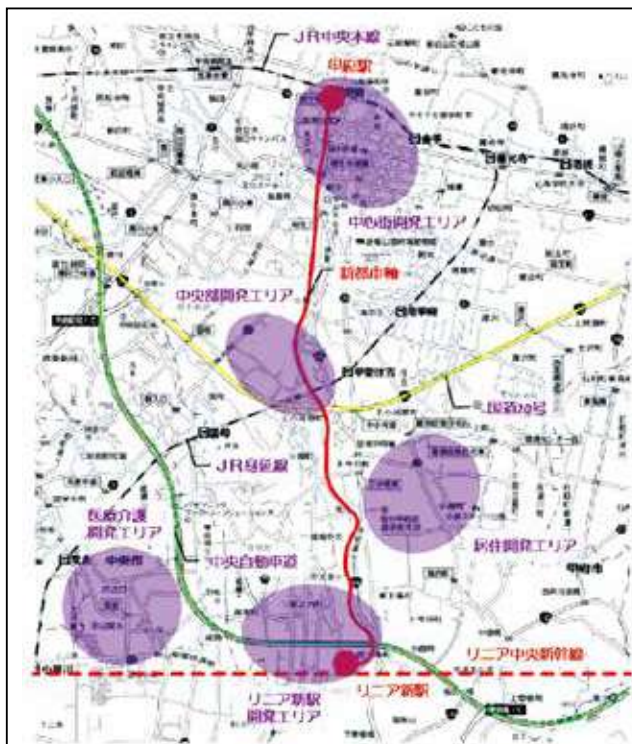
<https://seinen.ykenchikushi.org/yamanashi>

2040 PROJECT STEP 1

甲府盆地を
世界一美しく魅力的な盆地へ

STEP 1 「甲府盆地を世界一美しく魅力的な盆地へ」

2040年に甲府市の人口20万人を40万人にすることを目標に掲げスタートした「2040 PROJECT」。そのためには本当に暮らしやすく住みやすい地域にするために、リニア中央新幹線や中部横断自動車道の整備等を最大限に活用し、山々に囲まれた自然豊かな甲府盆地の特性を住民の力で生かすことが必要だと考えました。そこで、住民や訪れる人々にとって本当に快適で魅力的な地域にするために「甲府盆地を世界一美しく魅力的な盆地へ」をコンセプトとし、STEP 1として、リニア新駅と甲府市中心市街地とのアクセスについて提案しました。

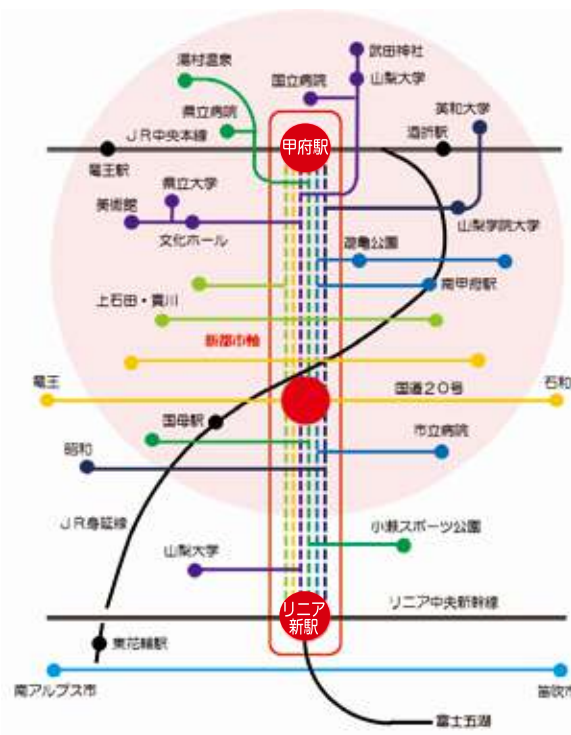


新しい交通システム	バス・ラピッド・トランジット (BRT)
イメージ写真	
動力	ガソリン・軽油・燃料電池
導入形態	専用通行帯(一部、優先通行帯)
最高速度	60 km/h
車両定員	60人/両
輸送時間	20~25分
CO2排出量	多い(燃料電池の場合は無し)
バリアフリー	低床車両、道路上の停留所の導入により、バリアフリー対応となる。
シンボル性	一般路線バス車両では劣る。運航バスでは新たなシンボルとなり得る。
既存交通への影響	交差点の交通処理等、自転車交通に影響を与える。
建設コスト	7億円/km

「新しい都市軸を創る」

甲府市中心市街地とリニア新駅を結ぶアクセスルート、コスト、利便性、実現性、地域住民の日常利用等を考え荒川沿いに整備し、「新しい交通システムで都市軸を創る」という観点からバス・ラピッド・トランジット(以下「BRT」という)を導入することにより、リニア中央新幹線が、定住人口の増加や自立した経済圏生成のためのツール、またはきっかけになると私たちは考えました。

「単にアクセスルートとしてではない30年後の公共交通システムを考える」



JRと連携した公共交通システムを甲府盆地に定着させることです。

甲府盆地が世界一美しく住みやすい盆地となるためには、公共交通システムの整備が不可欠です。その意味でも甲府駅とリニア新駅とのアクセスルート(以下「荒川ニューライン」という)は、相互間を繋ぐだけではなくBRTを利用した新しい公共交通システムの「背骨」と位置付けます。

この「背骨」に市内の重要なポイントを繋ぐ「あばら骨」を整備することにより、市内各所からの甲府駅やリニア新駅への移動、甲府を訪れた人々の観光スポットや甲府市中心市街地への移動、市民の日常の足としての利用等、荒川ニューラインの用途は広がります。

30年後のエネルギー事情を予測することは困難ですが、現在のような自家用車に頼る社会にはなっていないだろうと考えます。そのためにも、甲府駅とリニア新駅を結ぶ荒川ニューラインを新都市軸と位置付け整備すべきです。少なくとも、10分に1台の間隔でBRTを走らせる必要があり、それが市民の足となるのです。



「県内河川「信玄堤公園」構想」

甲府盆地のようにスプロール化した既存市街地では創り出す景観で環境整備を行っていくことが必要です。私たちとしては、信玄公の偉業の一つである「信玄堤」を含む河川公園（以下「信玄堤公園」という）を荒川に創ることを提案します。荒川の河川面積は今回対象とする部分だけでも54万㎡にもなります。これをその周辺も含めて信玄堤公園化できれば、地域住民はもとより甲府を訪れた人々にも、リニア新駅から信玄堤公園を通り甲府市中心市街地へ行けることは大きな魅力になります。

「荒川セントラルパーク構想」

「信玄堤公園」構想により河川公園が整備されていくと、荒川がメインの都市軸となります。河川敷が利用できるになれば、地域の生活はより豊かになります。広島 京橋川や大阪 道頓堀に見られる商業施設や、イベント会場としても利用できる河川公園、親水公園を目指します。例えば、コラニー文化ホール前の河川敷では、屋外コンサートや周辺自治会と共同でイベントを行える広場を整備し、また、富士山・南アルプスの山並が見えるビューポイントカフェ、緑化公園や河川公園と連動した花の咲く樹木並木等も含め、市民や地域の人々が楽しめる都市軸として提案します。

2040 PROJECT STEP2

甲府盆地を
世界一美しく魅力的な盆地へ

STEP 2 「中心市街地活性化～世界一美しい市街地へ～」

甲府市中心街で進行中の活性化事業及び整備計画がいくつもあります。2040 PROJECT STEP2ではそのうちのお城周辺整備計画と甲府市中心街地活性化計画に取り組みました。地域住民の買い物まわりによる流入人口と県外及び海外からの観光流入人口の増加を目指し、そのために何が必要かを私たちは考えました。



「グリーンリノベーション」

まちづくりは、その地域特性や歴史的背景を考慮しなければならないことはもちろんですが、独創性も大切になります。四季の移り変わりがあり、温暖湿潤な気候で植物がよく茂る日本の環境は、世界に冠たるものです。これらの特性を活かして街を緑化する「グリーンリノベーション甲府」を提案しました。

壁面緑化やグリーンツールで街を整備することにより、特色ある落ち着いた大人の楽しめる中心街を創造し、活性化を図ろうというものです。

「甲斐遊路」

甲府城の石垣は日本でも有数の石垣であることから、その景観の魅力を感じられるように遊歩道（甲斐遊路）を設置し安全で楽しい空間を整備します。甲斐遊路の途中にはポケットパークや親水空間を設けることで、甲府城をより身近に感じてもらえる憩いの場として提案します。



「オリオン通り」

オリオン通りには既存のアーケードを活用したペンダントタイプ（吊緑化）の緑化を提案します。花や植物で四季を感じ甲府にしかない独特な空間を演出できます。訪れるたびにオリオン通りの印象が変わるグリーンペンダントを、商店街へと誘う新たな入口としてダイナミックに緑化します。

「ココリ」

甲府のランドマークを目指し造られたココリの近代的な外壁をもっとインパクトを与えてシンボルになるよう壁面緑化を提案します。季節で変化する壁面緑化は四季折々に表情を変え甲府のランドマークとしての機能を高めると考えます。



「山梨フロントスタイル」

税務署跡地や甲府市社会教育センターのエリアは、お城エリアと中心市街地商業エリアを結ぶ重要な役割を果たします。私たちはお城の魅力と地域特産の魅力の両方を発信する山梨のプレミアムブランドショップ「山梨フロントスタイル」を提案します。ここでしか買えないもの、食べられないものなど、お堀や石垣の景観を活用したプレミアムな空間を計画します。既存商店街に繋げる甲斐遊路の整備も併せて行います。



「よっちゃんバル」

中心街に点在する駐車場を今までなかったスタイルの商業施設として象徴的に再生します。仮設コンテナを利用したまちなかマルシェ「よっちゃんバル」を提案します。ぶどう棚や壁面緑化によって整備された気持ちの良いカフェでランチやディナーをワインと一緒に楽しむ、そんな場所が中心街にあったら素敵だと考えています。



私たち2040 PROJECTは、「甲府盆地を世界一美しく魅力的な盆地へ」のコンセプトのもと活動をスタートしました。その時々での社会の課題に対し、建築士としての目線でソリューションを提案しています。STEP 1、STEP 2の詳細な提案書は右のQRコードからご覧いただけます。是非ご覧ください。



令和3年度 第30回全国女性建築士連絡協議会 福岡大会に参加して 女性部会 松野範子

昨年度開催予定だった福岡大会が、コロナ禍のため一年延期し令和3年9月25日(土)にオンラインにて開催されました。関東甲信越ブロック代表の連合会女性委員櫻井様の計らいで、私もアシスタントとして参加させていただきました。

本年度の開催に於いて、福岡の会場とオンラインの両方で進めることも考えられておりましたが、なかなかコロナの第5波が収束せず、会場には福岡県建築士会の皆様のみのお来場となってしまうことがわかり、オンライン配信を行う事に決定しました。当日に向けZOOMウェビナーの勉強会を始めましたが、ZOOMの操作もおぼつかない方も多く、主催者側だけでなく全員不安に包まれました。60分の分科会のうち、私は15分のライブ

配信への参加でしたが、事前に40分の録画をされた発表者は、撮り直しを何度もしたせいで、締切日直前にほぼ徹夜状態で仕上げたそうです。

全体のリハーサルでは、各分科会ともスムーズに進めることができ、福岡県の皆様

も各地の個々人の順応スキルの高さに大変驚いていました。

しかし、私個人は本番の画面上で思わぬ出来事が起きたことで、心臓の動悸が長い時間静まりませんでした。準備万端のつもりでいても落とし穴は、どこにでもあるものですね。

複数要素が含まれるのを承知で単純に比較しますと、例年の参加者は200名程度、今回福岡大会の参加者はオンラインを含めると438名。加えて前回担当分科会は13人程度のところ、今回は89名の参加でした。オンラインと現地での同時開催をスタンダードにしても良いかもしれません。地域または地域にいる個人の努力と反省を全国で共有できる日を楽しみに、今回の報告と致します。



令和3年度 山梨県地震防災訓練 (塩山支部 被災建築物応急危険度判定訓練) —事務局—

山梨県地震防災訓練が11月14日(日)に山梨市で開催され、その中で「被災建築物応急危険度判定訓練」が行われました。この訓練は、県建築住宅課や峡東建設事務所、山梨市役所の職員の指揮のもと、建築士会から塩山支部の勝村支部長はじめ10名の判定士が参加して合同訓練を行いました。当日は、午前9時に山梨市役所に集合し、県担当者から座学による応急危険度判定の講習を受けた後、山梨市菅北中沢住宅に移動して、空き家となっている木造住宅3棟の応急危険度判定を実施しました。判定作業では、行政が常備している判定用資

機材を用いながら、2人1組体制で目視による屋根・外壁・基礎等の構造体の状況や落下物の危険度などを調査するとともに、下げ振りによる建物の傾斜等を測定することで総合的な危険度を判定しました。判定結果は「判定調査表」に記入し、所有者等に建物の危険性を周知するため、「調査済(緑色)」「要注意(黄色)」「危険(赤色)」の3種類に色分けされた「判定ステッカー」を建築物の目立つ場所に貼り判定訓練は終了しました。塩山支部の皆様ご苦勞様でした。(※来年度の訓練は「西桂町(北富士支部)」で開催予定です。)



県からのお知らせ

山梨県県土整備部建築住宅課

<http://www.pref.yamanashi.jp/kenchikujutaku/index.html>

— 令和3年度山梨県建築文化賞 —

山梨県建築文化賞推進協議会

「山梨県立青洲高等学校」が建築文化賞に選ばれました

本年度の山梨県建築文化賞への応募（住宅建築13作品、一般建築物等21作品、公共建築物等11作品、計45作品）の中から、建築文化賞には「山梨県立青洲高等学校」が、また建築文化奨励賞には5作品が選出されました。

昨年11月26日に山梨県立図書館において表彰式が行われ、渡辺副知事から受賞作品の建築主、設計者、施工者に表彰状と記念品が贈られました。

これまでの受賞作品も含め、建築住宅課のホームページに掲載されていますので、是非ご覧下さい。建築士会ホームページからもアクセスできます。

今後とも、本事業の推進に建築士皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

【令和3年度 山梨県建築文化賞等表彰建築物一覧表】

(敬称略)

	部門	建築物の名称	所在地	建築物の概要 (用途・構造・規模)	建築主	設計者	施工者
建築文化賞	公共建築物等	山梨県立青洲高等学校	市川三郷町	高等学校 RC造(一部SRC造、S造)・4階建 13,495.75㎡	山梨県	(株)佐藤総合計画・(株)雨宮建築設計JV	早野組・日経工業・宏和建設JV、中央電気・鶴田電気・三菱電気JV、身延総合設備・共信冷熱・ダイカンJV
	住宅建築	山と湖の家	富士河口湖町	住宅 木造・平屋建 158.3㎡	渡邊 賢志 渡邊 寿子	建築設計室アトリエ風	(有)匠建築工房
	住宅建築	自然農を営む農家民家	市川三郷町	住宅 木造・2階建 216.67㎡	非公開	N設計アトリエ 松木一級建築士事務所	松木工務所
	一般建築物等	休息山立正寺庫裏	甲州市	寺院(庫裏) 木造・平屋建 416.62㎡	休息山立正寺	一級建築士事務所(有)アルケドアティス	伝匠舎(株)石川工務所
	公共建築物等	山梨県子どものこころサポートプラザ	甲府市	児童福祉施設、特別支援学校 RC造(一部木造、S造) ・2階建 6,811.89㎡	山梨県	久米・竜巳設計JV	日経工業・井口工業・依田工務店JV、長田組土木・興龍社・昭和建設工業JV、永田工業所・日設工業JV、雨宮工業・新光設備工業・明和工業JV、ふじでん・日昇電気工業・エヌディエスJV、滝沢電気・ヒロセ電気JV、長田組土木(株)、(有)小林電気商会、(有)荻野造園
良好なまちなみ景観を形成している建築物等	糸びすや	甲府市	シェアキッチン、民泊 木造・2階建 95.23㎡	(株)Vivit Base	(株)S PLUS ONE 建築設計事務所	(有)佐野工業	

【山梨県建築文化賞の応募・受賞件数（第1回～第31回）】

住宅建築の部門			一般建築物等の部門			公共建築物等の部門			良好なまちなみ景観を形成している建築物等の部門			計			
文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	応募数	文化賞	奨励賞	部門別受賞数	文化賞	奨励賞	特別賞	応募数
11	36	900	18	34	887	19	31	741	6	41	住宅15 一般28 公共4	54	142	1	2,557
47			52			50			47			197			

※・第1回、第2回は、一般建築物等、公共建築物等、良好なまちなみ景観を形成している建築物等の3部門で募集。
(住宅建築は一般建築物等に含まれた)

・第3回からは住宅建築、一般建築物等、公共建築物等の3部門で募集。良好なまちなみ景観を形成している建築物等については3部門から賞の主旨にかなうものを審査委員会の審査により選出。

・第17回からは、国、県の建築物についても表彰対象となる。

※ 山梨県建築文化賞推進協議会（構成団体）

(一社)山梨県建設業協会、(一社)山梨県建築士会、(一社)山梨県建築設計協会、(一社)山梨県建築士事務所協会、(公社)山梨県建設技術センター、山梨県